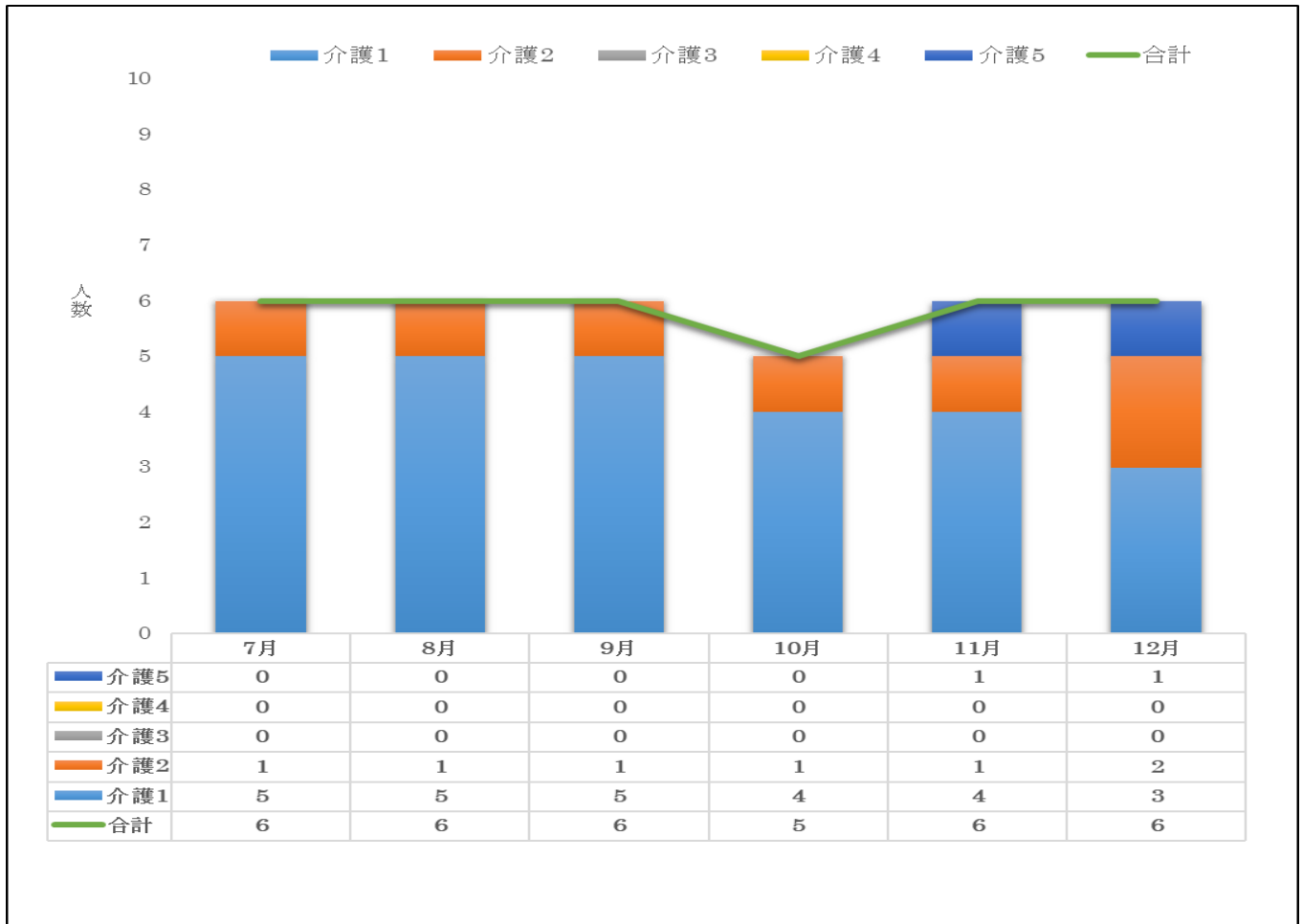


# 会 議 録

会議名：2022年度 第2回介護・医療連携推進会議	
場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、書類送付にて実施	
日 時：2023年1月31日に郵送	
出席者：冠・大塚地域包括支援センター H様、高槻みらい訪問看護ステーション S様、ご利用者ご家族 M様、竹ノ内地域住民代表 O様	
記録者：福田	司会者：なし(書面開催の為)

## I. 実績報告



### 2022年7月～12月 ご利用者数内訳

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
敷地外ご利用者	2	2	2	3	3	3
敷地内ご利用者	4	4	4	2	3	3
合 計	6	6	6	5	6	6

サービスの提供状況 2022.7～2022.12 まで

・敷地外ご利用者 3名  
訪問地域（千代田町 他）

・敷地外ご利用者 随時訪問回数、内容について

7月	8月	9月	10月	11月	12月
発汗の 清拭依頼 1回	入浴の 準備依頼 1回		様子確認  時間変更  薬関する問 い合わせ  各1回	更衣の 介助依頼 1回 衣類汚染・ 更衣介助 2回	時間変更  警察からの 通報  排便汚染の 排泄介助  各1回

○ 要介護2 男性について

9月～胃の不調による食欲不振、10月～幻視・幻聴の症状、11月～認知機能の低下による周辺症状が次第にひどくなっていきました。独居での自立生活が難しくなり始め、今までできていた食事の準備や服薬もままならなくなり、12月より必要な定期サービスを追加し、様子観察を行いました。しかし、暫くすると朝訪問の度に、夜間から早朝にかけて部屋中のテレビや電話、衣類、食品などが散乱しており、配線なども引き抜かれ車椅子もひっくり返り、ご本人を立ったまま動けなくなった状態で発見することも度々見られるようになってきました。早急にケアマネへ、ご家族、訪問看護との連携を持って急激な状態の変化について、支援変更及び対応が必要であると提案を行いました。

・敷地内ご利用者（サービス付き高齢者向け住宅ご入居者）

ご利用者はすべて女性で要介護1となっています。

サービス内容：主に服薬支援や食事の提供・誘導などがメインとなっています。

他、定期的な生活支援やイベントへの誘導（施設開催イベント・ワクチン接種・体操等）入浴はデイではほぼ行われていますが、デイの正月休み時には施設内個浴で入浴支援を行いました。

II. 問い合わせ報告

2022年7月～12月までの内訳

問い合わせ内容	
排泄	1
過去にご利用のあった方より	1
人口呼吸器の方に関する対応について	1
HPを見て	1
ADLの低下	1
随時訪問について	1
	6

### ●排泄についての内容

認知症状から、排便コントロールがうまくできなくなったそうで、どちらかと言えば、日中の定期訪問より、要望した時間に来てもらえる随時訪問だけあれば、大変ありがたいとお話でした。これからご家族に当事業所を提案されるそうで、ご連絡待ちとなりました。

→返答なし

### ●過去に2度ご利用があった方からの内容

問い：11月から施設より自宅に戻ることになりました。以前と同じようなサービスを受けることは可能ですか？

→新規契約

### ●人口呼吸器の方の対応に関する内容

問い：人工呼吸器の方でも対応は可能ですか？

答え：対応は可能ですが、当事業所は連携型である為、介護保険での訪問看護ご利用の場合は連携の契約を結んだ訪問看護事業所に訪問していただくことになります。医療保険で訪問看護をご利用になる場合は連携を結んでいる事業所である必要はなくなります。

問い：単位オーバー分は実費となりますか？

答え：実費負担となります。

### ●HPを見ての内容

食事・服薬確認・訪問看護について具体的に教えて欲しいとの問い合わせがあり、ご質問内容に対して、ご説明を行いました。

### ●ADL低下の方の内容

当施設ケアマネより直接ご相談があり、退院後の体力低下が心配される方への在宅支援をお願いしたいとのご依頼がありました。ご相談日に面接、サービス担当者会議実施後に契約、翌日よりサービス開始となりました

→新規契約

しかし・・・ケアマネやご家族が考えるよりも、ご利用者の状態は安定されており、ご家族よりサービスの必要性がないとのご判断にて、1日のみのご利用を以ってサービス終了となりました。

### ●随時訪問についての内容

問い：“現在の空き状況”と”来てほしい時にすぐ来てくれるのか？”

夜間帯はオンコール対応とさせていただいており、サービス状況によっては少しお待ちいただく事もあるとご了承していただいた上で、空き時間をお伝えしました。

→返答なし

## III. 2022 顧客満足度調査票アンケート 実施集計結果について

### <回収率について>

前年度に比べると、回収率が下がっていました。

### <結果>

全て「はい」の意見を頂いており、スタッフの接遇は問題なく対応できていることがわかりま

した。

#### <課題>

もともとご利用頂いている人数が少ないので、回収率が低いとアンケートの信頼性が低くなってしまいます。今後は書面でアンケート実施をお願いするだけでなく、直接お話ししてアンケート実施のご協力をお願いし、次回より回収率 100%を目指します。

### IV. 事例報告書

\*別紙参照

### V. 2022 年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

\*別紙参照

#### <結果>

外部評価に対するご返答はありませんでした。外部評価していただきやすいようにチェック様式に変更していましたが、書面だけのやりとりでは評価しづらいようです。

#### <課題>

できるだけ直接ご意見をいただけるように開催方法を検討していきます。検討した上でどうしても書面開催になる場合でも評価していただけるように内部評価コメントをより具体的にしていきます。

### VI. 今後の課題

#### ・サービスに関するお問い合わせについて

以前に比べ、HP 等閲覧してのお問い合わせも増えている中、その後の返答には繋がらない事が多いです。定期巡回サービスの存在も浸透しつつありますが、それぞれのご要望にあったものでなければ、ケアマネ含め実際ご利用になる方々のご希望に繋がらない結果となっています。更に、定期巡回のストロングポイントをアピールしていく必要性があると考えています。

#### ・求められる随時訪問、夜間訪問について

問い合わせの多くに「随時訪問は、どんな時でもすぐに駆け付けてもらえるのか」「日中の定期訪問より夜間帯だけ来てもらいたい」など、特に排泄介助に関しては時間帯を指定されることが多いです。随時訪問に関しては概ね 30 分以内にはお伺いできるようにしていますが、他サービス状況によっては多少お待ちいただくこともあり、求められるニーズにお応えできるような体制作りが課題となっています。

#### ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを勧めるご利用者について

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスとは、医療と介護が連携して要介護者の在宅生活を 24 時間支えるためのサービスです。医療と介護の両方が必要になるような要介護度の重いご利用者へ、ご家族の介護負担の軽減も含め、お勧めしたいサービスと考えております。病院や病院関係のケアプランセンター、訪問看護事業所への当事業所のご利用情報を積極的に発信していく必要があります。

## VII. 取り組み内容について、ご要望ご助言

### ・冠・大塚地域包括支援センター H様

サービスの性質上、支援が困難なケースであることも多いと思います。また、限られた時間内で必要な事をすべて完了することも大変な事だと感じます。人材確保も難しいとは思いますが、今後もサービスの実行・維持をよろしくお願いします。機会がありましたら、ケア会議等で事例の紹介等いただけましたら幸いです。ありがとうございました。

→ご意見ありがとうございます。定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを有効に活用していただけるように今後も事例紹介をさせていただきます。

### ・高槻みらい訪問看護ステーション S様

医療依存度の高くない夜間や休日の対応をしていただき、当事業所の看護職員の負担が減り大変助かっております。

→ご意見ありがとうございます。介護・医療とそれぞれ役割分担を行うことで、より専門性の高いサービスが提供できていると感じています。今後ともよろしくお願い致します。

### ・ご利用者ご家族 M様

思っていたより利用者の数が少なく、この数で経営が成り立つのかなと思いました。事例報告より、自分で食材を調達するというのは、栄養が偏りがちになり、かなり高度な生活能力だと思います。食堂利用が良いなあと感じます。

→ご意見ありがとうございます。事例報告にあったご利用者は一般的なマンションにお住まいの方となりますので、サ高住のように食堂利用がありません。配食弁当をご利用いただいていた時期もありましたが、味がお好みではなかったようですすぐに利用を終了されました。美味しい食事をしたいというご利用者の気持ちを尊重して、ご家族と協力しながらご支援させていただいていました。

### ・竹の内地域住民代表者 O様

資料見させて頂き、介護分野で大変なお仕事をされていることを改めて知りました。

私自身がその事に真剣に向き合えてなく、どちらかといえば背を向けていました。福祉活動を進める上でも今後は向き合っていければと考えています。

ご指導よろしくお願いします。

→ご意見ありがとうございます。この会議は地域における介護・医療に関する課題について関係者が情報共有を行うことも目的としております。地域の声をお聞かせいただくことは大変貴重なご意見となります。今後ともよろしくお願い致します。